

令和5年度 東京都高体連サッカー専門部主催大会 新型コロナウイルス感染症に関する申し合わせ事項

1 感染対策ルール（感染拡大防止のために全員に求められること）

- ① 以下の事項に該当する場合は参加を見合わせること
 - ・体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 社会的距離を確保できずに会話をするときにはマスクを着用する
- ③ 咳エチケットに十分配慮する
- ④ 手洗い、手指消毒をこまめに行う
- ⑤ 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する
- ⑥ 3密（密閉、密集、密接）を避ける
- ⑦ 握手、抱擁などは行わない
- ⑧ フィールド上での唾・痰吐き、うがい等はしない
- ⑨ タオル、飲料ボトルなどの共用はしない
- ⑩ 選手、チーム関係者の健康の記録・管理（本部への感染対策用提出書類は健康チェック報告シートのみ）
- ⑪ その他日本サッカー協会・東京都高体連が示す注意事項を遵守する

2 参加可能な健康状態について

健康状態に関しては、チームとして行動する中できちんと管理しながら大会に参加すること
発熱や諸症状が出た場合は、すぐに隔離し病院へ行くなどの対処を行う

3 参加各チームに対応を求めること

- ① チームの感染対策責任者を定め、会場の感染対策責任者（運営責任者）と密に連絡を取り合うこと
- ② チームの感染対策責任者は、運営責任者との情報共有のため、大会出場2週間前からチームが健康管理を行い、会場に到着したらすぐに健康チェック報告シート（様式1）を大会本部に提出すること
- ③ 試合の勝敗に関わらず、試合後7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当該地区責任者に速やかに報告すること
- ④ いかなる理由（風邪、体調不良等）があっても37.5℃以上の発熱があった者は、会場へ連れてこないこと

4 大会参加に関する申し合わせ事項

（1）日程変更及び参加可否について

- ① 原則日程変更及び延期措置は行わない
- ② 会場に不都合が生じたときは、会場および時程を含めて変更する場合がある
- ③ 陽性者、濃厚接触者に特定され、大会当日に登校を許可されていない者の参加は認めない
- ④ 大会当日までに部員の陽性または濃厚接触の判定が間に合わない場合、大会会場に来場するチーム関係者（登録メンバー、スタッフ、サポートメンバー）は抗原検査を実施し、陰性が確認できた者のみ参加、出場を認める
- ⑤ 試合後7日以内に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出た場合、当該選手の試合出場、不出場に関係なく、当該校は行政機関の指示を仰ぎチームの次戦出場可否の判断をする

（2）大会開催時の感染防止策

- ① 原則、一般客を含めた有観客での大会実施とする

- ② 観戦人数制限のある会場では会場入りできる観戦者は、部員及びその保護者のみとし、チームメンバーは、選手・スタッフを含めて上限 32 名とする（スタッフ 5 名、登録人数 23 名、他選手サポート 4 名）
- ③ 試合に関わる全ての人（チームメンバー、審判員、運営者、取材、応援者など）は体調管理を徹底する。
- ④ 感染対策としての前後半途中での飲水タイムの実施は行わない。チームは試合中、個別ボトルを準備するなど、ボトルの共用をしないよう対策をとる
- ⑤ 試合開始前に約 30 分間の W-UP 時間を設け、1 会場 4 試合を上限に会場運営を行う
- ⑥ ボールパーソン及び担架要員については、ハンドブック記載の通りとする（P15）
- ⑦ 原則、指導者、スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。ただし、距離を確保できる場合には着用しないことを認める
- ⑧ 観戦人数制限のある有観客試合になる場合、会場の制限人数を遵守するようチームは観戦者への周知を徹底する
- ⑦ 試合開始前及び終了後のセレモニーは、握手の代わりにグータッチを適用し実施する
- ⑧ 試合終了後のセレモニー後、相手チームや応援団への挨拶も認める。その際、十分な距離をとるよう配慮する
- ⑨ 円陣を組む場合は、距離を確保し接触は避け、集団発声を控える
- ⑩ 観戦人数制限のある会場でスカウティングを行う場合、スカウティング申請用紙（様式 2）を運営責任者に提出し、スカウティング要員は 2 名までとする
- ⑪ 会場校からの審判員へのドリンク提供はペットボトルを用意する

5 応援に関する申し合わせ事項

- ① 観戦人数制限のある会場ではチーム観戦者の人数制限を必ず守り、観戦者は部員及び保護者のみとする
- ② 発声応援が許可された会場において、発声応援をする応援者は、応援者との距離を取り必ずマスクをする
- ③ 鳴り物やメガホンの利用については、会場利用のルールまたは会場校の決まりに従って使用の可否を判断する。使用が許可された場合、必ずマスクを着用し応援者や一般客と距離を取って行う

《 大会での提出・受取 》

- ・ 試合当日まで … 健康観察を 2 週間前から行い、各チーム所属長に大会参加の許可を得る
- ・ 試合会場到着 … 健康チェック報告シートを運営責任者（感染対策責任者）に提出する
- ・ マッチミーティング … 運営責任者（感染対策責任者）、主審、チーム代表者で行う（3 密を避ける）
（K030 分前） MCM 実施要項を用いて感染対策事項、競技方法について確認する
- ・ 試合開始 30 分前 … 選手証、メンバー表、警告退場確認書を提出する
- ・ 試合終了後 … 選手証、警告退場確認書、健康チェック報告シートを受け取る

《 緊急時の連絡先 》

